

## スケジュール

11月5日(土)		11月6日(日)	
11:30	入室開始	8:30	入室開始
12:25	開会挨拶 大会長：足立弘明	9:00	一般口演3 (9:00~10:00) 「ストレス応答による細胞恒常性の維持」(各12分)
12:30	一般口演1 (12:30~13:30) 「ストレス応答の分子機構」(各12分)	10:00	シンポジウム2 (10:00~11:40) 「ストレス応答と疾患；Bridges to Clinics」  村田 茂穂 先生 (東京大学) 近藤 豊 先生 (名古屋大学) 村尾 直哉 先生 (宮崎大学) 大橋 憲太郎 先生 (岐阜大学)
13:30	一般口演2 (13:30~14:30) 「ストレス応答による神経病態の修飾」(各12分)		
	休憩		休憩
14:40	シンポジウム1 (14:40~16:20) 「細胞恒常性を担うシグナルと遺伝子発現の制御」  本橋 ほづみ 先生 (東北大学加齢医学研究所)  大川 恭行 先生 (九州大学)  小林 聡 先生 (同志社大学)  池田 史代 先生 (大阪大学)	12:00	ランチョンセミナー (12:00~13:00) 「重症筋無力症 update:ガイドライン2022改訂ポイント」  鈴木 重明 先生 (慶應義塾大学)
	休憩	13:05	評議員会・総会・若手研究奨励賞表彰式 (13:05~13:20)
16:30	特別講演1 (16:30~17:30) 「プロテアソームの基礎から医学研究へ」  田中 啓二 先生 (東京都医学総合研究所)	13:30	特別講演2 (13:30~14:30) 「分子シャペロンが生み出す“細胞-身心一体科学”~ $\alpha$ B-クリスタリンと微小管に注目して~」  跡見 順子 先生 (東京農工大学)
17:30	若手研究奨励賞応募演題ポスタープレビュー (17:30~17:50) (各1分)		休憩
17:50	若手研究奨励賞応募演題ポスター討論 (17:50~19:00)	14:40	一般口演4 (14:40~15:40) 「ストレス応答による身心の病態の修飾」(各12分)
		15:45	閉会挨拶 大会長：足立弘明

## 第 16 回 日本臨床ストレス応答学会プログラム

2022 年 11 月 5 日 (土)

11:30～ 入室開始

12:25～12:30 開会挨拶 (大会長：足立 弘明)

12:30～13:30 一般口演 1 「ストレス応答の分子機構」(各 12 分)

座長：鶴殿 平一郎 (岡山大学)、今泉 和則 (広島大学)

O-1 sHsp のオリゴマー解離メカニズムに関する研究 Study on the oligomer dissociation mechanism of sHsp

養王田 正文 (東京農工大学工学府生命機能科学部門)

O-2 Hikeshi による分子シャペロン HSP70 の核輸送が適切な HSF1 転写制御とタンパク質恒常性維持に重要である

小瀬 真吾 (理化学研究所・開拓研究本部・今本細胞核機能研究室)

O-3 メディエーターキナーゼモジュールの MED12 は HSF1 凝縮物の形成を促進する

岡田 真理子 (山口大学大学院医学系研究科医化学講座)

O-4 小胞体膜局在転写因子 OASIS による細胞増殖と癌化制御

齋藤 敦 (広島大学大学院 医系科学研究科 分子細胞情報学)

O-5 出芽酵母を用いたヒト・ストレス応答 JNK-MAPK 活性化型変異体の単離

久保田 裕二 (東京大学医科学研究所 分子シグナル制御分野)

**13:30～14:30 一般口演 2「ストレス応答による神経病態の修飾」(各 12 分)**

座長：柴田 亮行 (医療法人尚寿会大生病院)、永井 義隆 (近畿大学)

- O-6 神経変性疾患の病因蛋白質の分解亢進による治療  
足立 弘明 (産業医科大学 神経内科学講座)
- O-7 神経特異的タンパク質によるリピート病における細胞変性機序  
佐橋 健太郎 (名古屋大学医学部神経内科)
- O-8 Praja1 E3 ユビキチンリガーゼによる神経変性疾患関連蛋白質の凝集抑制  
渡部 和彦 (杏林大学保健学部臨床検査技術学科)
- O-9 パーキンソン病皮膚に存在する真皮 Iba1 陽性マクロファージにおけるリン酸化  $\alpha$  シヌクレイン沈着  
大泉 英樹 (NHO 仙台西多賀病院 脳神経内科)
- O-10 中枢神経特異的 Derlin-1 欠損マウスの神経障害に対するケミカルシャペロンの作用メカニズム  
杉山 崇史 (宮崎大学医学部附属病院脳神経内科)

**14:40～16:20 シンポジウム 1「細胞恒常性を担うシグナルと遺伝子発現の制御」**

座長 中井 彰 (山口大学)、徳永 文稔 (大阪市立大学)

- S-1 転写因子 NRF2 による硫黄代謝制御と生体防御  
本橋 ほづみ (東北大学加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野)
- S-2 空間オミクスによる遺伝子発現を制御するシグナル伝達経路の解明  
大川 恭行 (九州大学 生体医学防御研究所 トランスクリプトミクス分野)
- S-3 プロテオスタシスないしアルギニンシグナルに対する新たな生体応答  
小林 聡 (同志社大学大学院生命医科学研究科医生命システム専攻)
- S-4 ユビキチンシステムによる細胞死と炎症反応性シグナルの制御  
池田 史代 (大阪大学大学院 生命機能研究科)

**16:30～17:30 特別講演1 「プロテアソームの基礎から医学研究へ」**

演者：田中 啓二（東京都医学総合研究所）

座長：石垣 診祐（滋賀医科大学 神経難病研究センター）

**17:30～17:50 若手研究奨励賞応募演題ポスタープレビュー（各 1 分）**

座長：伊藤 英晃（東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻）

Y-1 培養アストロサイトをを用いた fukutin の新規機能解析 Novel functional analysis of fukutin using cultured astrocytes

岡村 幸宜（東京女子医科大学 医学部 病理学講座）

Y-2 細胞画像 AI 解析技術を用いた球脊髄性筋萎縮症（SBMA）治療薬候補のスクリーニング  
榊原 健二（名古屋大学医学部神経内科学）

Y-3 腎結晶形成における Keap1-Nrf2 経路を介したストレス応答の果たす役割  
牛本 千春子（金沢医科大学 泌尿器科学）

Y-4 分子シャペロン Hsp104 によるアミロイド線維分解機構の動的解析  
野井 健太郎（東京農工大学工学研究院）

Y-5 TGF- $\beta$ 1/SMAD2 シグナルを介したサイトグロビン発現の抑制は非アルコール性脂肪性肝炎における肝星細胞の酸化的 DNA 損傷を引き起こす  
翁 良徳（大阪公立大学大学院 医学研究科 医化学）

Y-6 核膜ストレス応答の分子機構とその生理的意義  
上川 泰直（広島大学大学院医系科学研究科分子細胞情報学）

Y-7 hERO1-L $\alpha$  を標的としたトリプルネガティブ乳癌の新規治療戦略  
和田 朝香（札幌医科大学医学部病理学第一講座）

Y-8 Liquid to solid phase transition of full-length TDP-43 protein  
陸 江坤（近畿大学医学部脳神経内科）

- Y-9 肝細胞における Caspase4 のストレス調整因子としての機能解析  
隅田 和広 (産業医科大学分子生物学教室)
- Y-10 小胞体ストレスセンサーPERK の活性化によるリン酸化を介した HMGB1 の分泌機構  
谷内 秀輔 (旭川医科大学薬理学講座)
- Y-11 FUS は RNA シャペロンとして GGGGCC リピート RNA からの RAN 翻訳を抑制し、C9orf72 関連 ALS/FTD における変性病態を改善する  
藤野 雄三 (近畿大学医学部大学院医学研究科内科学教室脳神経内科部門)
- Y-12 出芽酵母におけるユビキチン・プロテアソーム系による熱ストレス時の核膜孔複合体の品質管理  
清水 翔太  
(静岡大学 総合科学技術研究科 農学専攻 応用生命科学コース 木村洋子研究室)
- Y-13 運動による骨格筋 AMPK シグナルの活性化は、ポリグルタミン蛋白の凝集体形成による神経筋変性を抑制する  
蛭薙 智紀 (名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学)

**17:50~19:00 若手研究奨励賞応募演題ポスター討論**

2022年11月6日(日)

8:30～ 入室開始

9:00～10:00 一般口演3「ストレス応答による細胞恒常性の維持」(各12分)

座長：養王田 正文(東京農工大学)、武内 敏秀(近畿大学)

O-11 ペルオキシソームの恒常性と酸化ストレス応答戦略

藤木 幸夫(九州大学システム生命科学府 ウェストウイング711)

O-12 抗がん活性天然物 OSW-1 の作用におけるオキシステロール結合タンパク質の役割

櫻井 香里(東京農工大学大学院工学研究院)

O-13 低分子量ストレスタンパク質  $\alpha$ B-クリスタリンによる細胞質への  $Ca^{2+}$  流入時の微小管保護効果機構

堀ノ内 慎哉(東京農工大学工学府材料健康科学寄附講座)

O-14 ATF6 $\alpha$  と ATF6 $\beta$  の二重欠損が引き起こす UPR 制御機構の代償的変調と細胞機能の関係

赤井 良子(金沢医科大学 総合医学研究所)

O-15 生理的溫度変化に適応するための熱ショック転写因子群の機能進化

瀧井 良祐(山口大学医学部医化学講座)

**10:00～11:40 シンポジウム 2「ストレス応答と疾患；Bridges to Clinics」**

座長 足立 弘明（産業医科大学）、石垣 診祐（滋賀医科大学）

**S-5 プロテアソーム機能低下ストレス応答**

村田 茂穂（東京大学大学院薬学系研究科 蛋白質代謝学教室）

**S-6 細胞の DNA 複製ストレスを解消する非翻訳 RNA の働き**

近藤 豊（名古屋大学 大学院医学系研究科 腫瘍生物学）

**S-7 記憶・学習などの高次脳機能を支える小胞体品質管理機構**

村尾 直哉（宮崎大学医学部機能制御学講座 機能生化学分野）

**S-8 ゴルジ体ストレス応答とその制御**

大橋 憲太郎（岐阜大学工学部化学・生命工学科、大学院連合創薬医療情報研究科）

**12:00～13:00 ランチョンセミナー**

**「重症筋無力症 update:ガイドライン 2022 改訂ポイント」**

演者：鈴木 重明先生（慶應義塾大学医学部・神経内科）

座長：足立 弘明（産業医科大学）

**13:05～13:20 評議員会・総会・若手研究奨励賞表彰式**

**13:30～14:30 特別講演 2**

**「分子シャペロンが生み出す“細胞-身心一体科学”**

**～ $\alpha$ B-クリスタリンと微小管に注目して～」**

演者：跡見 順子（東京農工大学）

座長：鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部病理学第一講座）

**14:40～15:40 一般口演 4「ストレス応答による身心の病態の修飾」(各 12 分)**

座長：西頭 英起 (宮崎大学)、長谷川 隆文 (東北大学)

- O-16 ストレスによる報酬系異常は「ダラダラ食べ」の原因となる  
藤岡 祐介 (滋賀医科大学神経難病センター)
- O-17 身心一体科学からみた抗重力環境下における身体の動的制御戦略の学習手段：臥位身心調律運動の検証  
跡見 綾 (東京農工大学工学府材料健康科学寄附講座)
- O-18 社会的敗北ストレスラットの慢性高体温症に対するマレイン酸フルボキサミンの効果  
高橋 昌稔 (産業医科大学病院 脳神経内科、心療内科)
- O-19 ストレス応答を介したシスプラチンによる口腔扁平上皮癌細胞上の PD-L1 誘導機構の解明  
笹谷 聖 (札幌医科大学医学部病理学第一講座)
- O-20 がんのストレス抵抗性に関わる MZF 核ボディの構造解析  
江口 傑徳 (岡山大学 学術研究院医歯薬学域 生体制御科学専攻 歯科薬理学分野)

**15:45～15:50 閉会挨拶 (大会長：足立 弘明)**